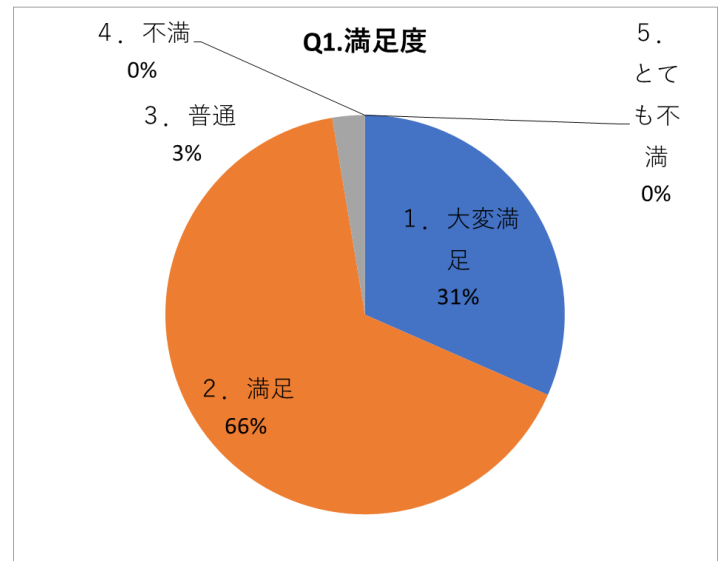
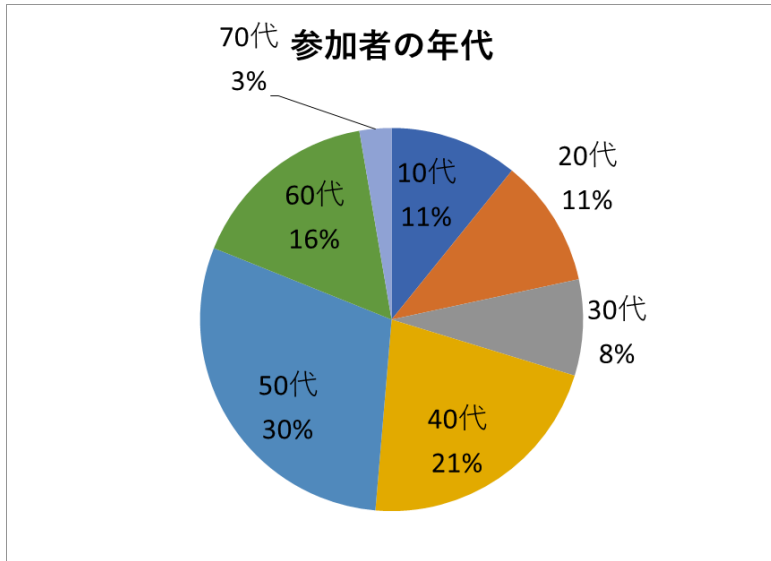


2019/11/30『世界中の子どもを権利をまもる 30 の方法』出版記念イベント「今改めて考える子どもの声を聴く
 大切さ～実践の現場から～」アンケート集計結果



Q2.Q1 の理由

実践者の方々の話を聞くことができた。

本をどれだけ大事につくってきたか、想いを感じることができました。

子どもたちを心の底から大切にしようという人たちの温かさと熱さに感動。

登壇された方々のお話を幅広くうかがえました。時間がもう少しあるとよかったです。

お子さんの声を直接聞いたこと。

休憩時間の取り方が微妙でした。20時までなら通しでやるか、もう少し早い休憩にするか、開催時間を長くしてはどうですか。プログラムを詰め込みすぎだと思います。内容は大変満足です。

子どもたちの権利、子どもたちを守っていくために様々な活動が行われていることがすばらしいと思いました。

子どもの権利条約について知ることができてよかった。子ども自身が知ることによって大人も子どもも幸せに生まれるようにまずは家族、知人から実践したいです。素直な意見を堂々と話されている坂口さん、福

原さんの話に感動しました。

著者の方々のご活躍や世間との温度差などを知ることができた。

子ども：女兒 9 歳、男児 5 歳

子どもの権利について考え、知りたいと思っていたので。

短い時間で重要なポイントが語られ、とてもありがたく感じました。皆さん、お話がコンパクトで上手で、また、本に書かれた背景を知ることができ、満足です。

30 周年と知らなかった。

最近、セミナーに参加することが多いので、今回も普通のセミナーだと思ったから。

私自身が PTSD があり、幼少期を思い出し、少しフラッシュバックを起こしてしまったため。

やはりシーライツは大切な活動をしていると実感。

実際に活動されている人たちや中学生、高校生の話を聴くことができ改めて考えるきっかけとなりました。

短い時間にたくさんの方々の話があり、とても充実していたから。

執筆者の声をきけた。

実際に子どもに向き合って権利について取り組んできた方々のお話をきくことができたから。

このイベントの詳細（出版記念）は知らずに参加。子どもの人権について勉強し始めたばかりです。目指したい方がたくさんいらして感動しました。

本に携わった方々の声を直接きけてとてもよりよく理解することができました。

様々な角度から見た意見を聞くことができました。

いろんな人がいろんなことを言って、でも子どもは大切、尊重されなきゃ、法律はあるとないで違う。

いろいろな人に納得、受け入れてもらうために。

この集会在盛会で”子どもの権利条約”を考える人たちのパワーを感じることができたこと。坂口さんの発言はとても素晴らしかったと思います。皆さんの一言一言が刺激的でした。

執筆者の方々に直接会ってお話を聞いた。

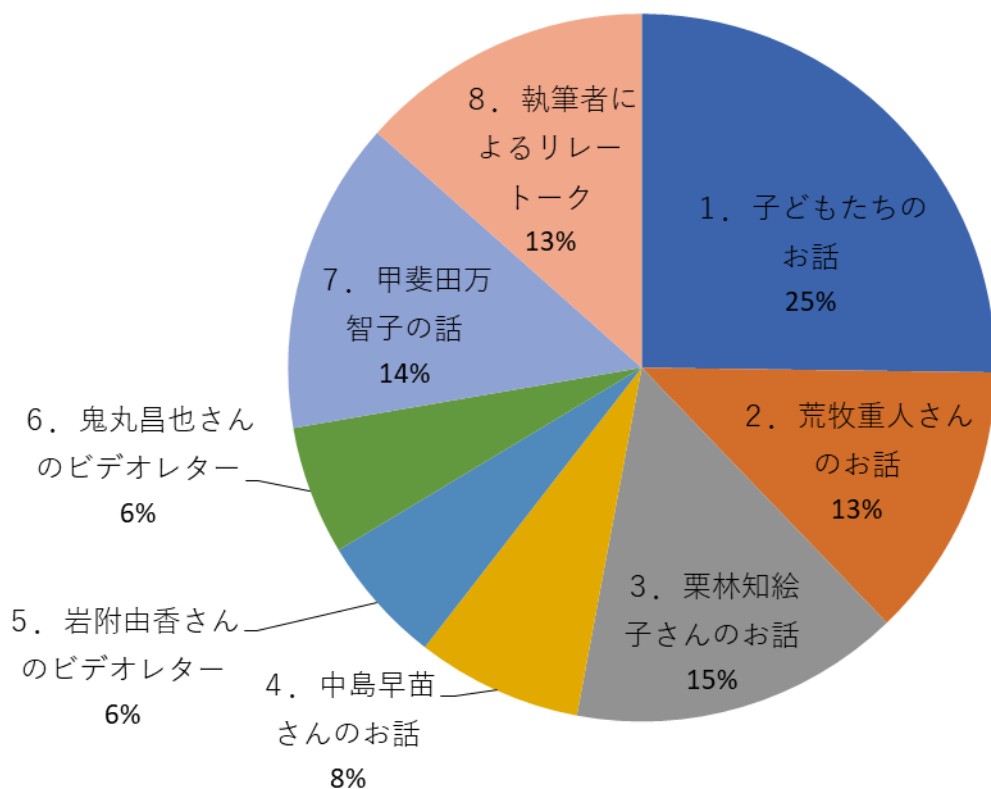
子どもさんの参加がとてもよかったです！

坂口くり果さんなど年代の近い人の意見もきけて、とてもよい機会になりました。また、わかりやすかったので聞きやすかったです。

子ども自身や現場の人の声を聴くことができたから。

とてもコンパクトにかつ分かりやすくまとまっていてよかったと思います。そして要点を聞いて、あとは本でじっくり読ませていただければバッチリという、出版記念イベントらしくてよかったです。当事者である中学生、高校生のお二人が登壇されたことも良かったです。

Q3.印象に残ったもの



※Q3 は公開不可。

Q4.Q3 の理由

リアルに子どもたちを目の前にされている方のお話はとても勉強になりました。子どもたち、大人たちもお互いが理解できる世界をつくっていきたいと思いました。

本をどれだけ大事につくってきたか、想いを感じることができました。

子どもの声を聴くことができてよかった。

何かを始める時どんなに良いことであっても否定的な言葉を発する人はいるということ。その中で力強く活動を続けていらしたこと。

当事者の声なので。お話をする方の人数が多く時間が短いので、もう少し詳しいお一人一人のお話を聞きたかったです。

子どもの声の力強さ・パワーが社会を動かしていけるのではと思いました。

地域の子どもの寄り添う人が多くいるまちづくりの実現を願います。子ども食堂は月1回利用することがあり、大変救われています。子どもも大好きでいつも喜んで参加しています。

それぞれにあったケアの必要性を知ることができた。

短い時間でしたがとてもテンポよくお話が進み、なおかつ様々なお話を聞かせていただけました。

「子どものために」ではなく「子どもたちと共に」の心を持つことの大切さと同時に子どもの力を本当に大きく感じさせてくれました。“街全体”という考え方、“街全体”を実践するお話でした。他の方々のご発言も感銘を受けました。

個人が行政に興味を持っているからです。

子どもの視点、シンプルな考え方取り入れたい。

全体が、今大学生として様々なことを学んでいる身として、とても考えさせられる話だったと思います。

母子手帳に子どもの権利条約をのせるという試みは興味深かった。

オールOK。元気をもらいました。

障害者には何もできないというような考え方ではなく、どんな助けを必要としているのかをまず知ることが大切だと改めて思いました。地域で困っている人の声をキャッチできるようになると子どもだけでなく高齢者など他に困っている人の声もキャッチできるときいて、地域全体が良い方向へつながるようになるんだと思いました。

すべて心に残るお話でした。

どれもとても考えさせられる内容でした。

私は教育大学に通う1年生です。「家で団らんができないなら地域で」「一人でも受け入れてくれる大人がいるだけでSOSが出せる」という言葉に強く共感しました。私は、「教室という場所を子どもたちにとって安心できる場所にしたい、多感な時期を生きる中学生に居場所を提供したい」という思いで教員を志し、今も活動しています。やはり、心の居場所が一つでもあることが、生きる上でどうしても欠かせないことだと思いました。

福原さんのお話は明確でいろんな人に会いたいと言っているように思えた。

地域で活動する気持ちの後押しになったと思います。

日本の子どもたちは条約ができ、自治体でも条約ができていても苦しんでいる子どもが増えてはいないかと考えています。地域で様々なアプローチをしている方々の取り組み・活動に励まされています。

テーマが子どもの権利条約なんですから、子ども参加のセミナーで納得です。

年代が近いといいながら知らなかったことやいろいろな考えを聞くことができ、新鮮であり考えさせられたからです。

Q5.セミナーを通じて改めて知ったこと、理解したこと

子ども自身が意見表明権が保障されることを知ってあげたいという発言や、子どものチカラを信じることの重要性。

いじめは権利侵害だけではないこと

教育現場でできること、まだまだたくさん可能性があると感じた。実践に生かしたい。

子どもの権利についての取り組みが様々な方々により実施されているということ。

最新の子どもの権利にまつわる情報。

お話されていた権利シンポジウムに FHCJ 副理事永野恵理さんから知り、子どもを夫に頼み、聴きにきました。東京の妊婦の友達も来てくれ、先日無事出産。子どもの権利を大切にしたいと改めて思いました。貧困地帯の女の子にある問題に性的搾取のこともあると聴いてもっと詳しく調べてみたいと思いました。

子どもたちは意見を持っています。その場や機会を作っていないのは大人の方だと思いました。

保育士を 10 年近くしていましたが、子どもの虐待、ネグレクトの子どもを保育園で預かっているときしか守ってあげることができず、もどかしさがありました。子どもの権利が広がったらそういう子を助けられるのが増えていくのではないかと感じました。

子どもの権利の実践の重要性です。話すだけではなく本当に何かを効率的にすることだと思いました。

受け止めて聞く人がいないと子どもは意見を言わない。

自分はたぶん不自由をあまり感じずに子どもとして生活していたけれど、改めて子どもの時を思うと、周りに困っている友人もいたと思うし、今学生だからできることを探していこうと思いました。

子どもの権利を主張するためにはまず「大人の意識を変えていかなければいけないということ。

国に子どもを守る機関はあっても子どもの権利を使えるような機関がないということ。

たくさんの学びがありました。

子どもの声をきく難しさと重要性。

やはり、子どもの権利条約は広めるべき。未来の教員を養成する教育学部生ですら知らない現状を変えたい。

いじめはエスカレートするので小さなことから絶つ。

たくさんの方たちが子どもを取り巻く社会的課題に取り組んでいらっしゃるのだなと思いました。

母子手帳に子どもの権利条約を載せるという提案を知ってよかった。素晴らしいです。

私たちのシンプルな考えをたくさんの人に聞いてもらいたいし、子どもの権利の大切さを発信していきたいです。

様々な 이슈が子どもの権利条約に関係しているということ。

Q6. セミナーを通じて変化した気持ちややってみようと思うこと

この本の大切さを周りに伝えたいと感じました。自分の子どもとの向き合い方を見直そうと思いました。

知り合いの教員、学校図書館に紹介・寄贈します。

子どもの声を聴くということの”捉え方”をもう一度見直してみようと思いました。

大人の意識のあり方が大切だと思っています。

私自身の子育て、学校や地域との関わり方。

永野さんとフィリピン等のスタディツアーに行きたいと思っています。

小さな一歩を一人一人が踏み出すこと。

子どもの参加について、コミュニケーションの学びをお伝えする場面があるので、具体的に伝えていきます。本もその学びのためにもう一冊購入します！

SDG s と子どもの権利の繋がりを大学院の課題で研究したいと思うことになりました。

子どもへの質問の仕方、話の聞き方を変えてみたい。

社会学を学ぶ上で知らないことだらけだし、もし自分が大人になって、子どもを持つときにも親として、一人の大人としてすべきことがあるなと感じました。

私も今回のことについて知らない人に話してみたりなど広めていくことが大事なことだと感じた。

支援現場でさらに子どもの権利条約の話は必死でしていきたい。

こどもに子どもの権利について伝えることは、子どもをワガママにさせてしまうという偏見は知らぬうちに多くの人が持ってしまうと感じました。実際に、子どもの意見をきいていると子どもは意見を聞くようになるという話を聞いて、子どもの話をきき、意見に向き合うことを意識していこうと思いました。

自分にも”何かできる”と実行にうつす勇気が出ました。

このテーマにもっと深く関わっていきたくて思われました。

現状を変えたいという気持ちが高まりました。こういうイベントに参加すると教員が期待されていないことがヒシヒシと伝わる。変えたいです。

視覚障害の方をよく見かけるのでできることがあれば声をかけたい、道の空き缶はごみ箱に入れる。

子どもの権利をもっとよく知って実行していきたいです。

ますます、自分の仕事には反映させてゆきます。出版関係の仕事なので、子どもに与える情報ではなく子どもが欲しい情報とは何かしっかり考えてみます。

まず、自分の子どもの力をもっと信じてみようと思いました。

ほとんど子育てが終わりに近づき、今更ですが、子育ての難しさを改めて振り返っています。子どもの言うことを聞くということ、それはもちろん大切なのですが、そのためには親の方にもスキルが必要ですね。そこをどう教育・啓発していくかが課題ですね。

Q7.全体を通しての感想や今後の期待

頑張ってください！

素晴らしい企画をありがとうございました。

盛況で良かったですね！書籍については今後も色々な方に勧めます。

改めて HP を見てから決めてみようかと。

本も読んでみたいと思います！

今日は知人が Facebook でシェアしているのを見て参加しました。今後は情報を していきたいと思えます。

ありがとうございました。

今後もすばらしい活動を継続させてください。

様々な背景のスピーカーがいて、話がとても勉強になりました。シーライツはこれからもっとインターネットやメディアで宣伝したらいいと思います。若い人にアピールしたらいいかなと思います。SNS の影響を利用して、若者を含めて活動したらよいと思います。

海外も大変かと思いますが、足元の日本をなんとかしたいですね。世間体・親の教育と監視、SNS、頑

張ってください。

体調不良により、思うようにお話が聞けませんでした。私も虐待サバイバー当事者として無理のない範囲
でできることをしていこうと思います。

まだ知らないことや自分が今すべきことがはっきりわからないけれど、このような活動をしている人や団
体がたくさんあることも知れたので、調べて何かボランティアでもできることを見つけたいと思います。

とても勉強になったシンポジウムでした。ありがとうございました。

会場変更の件

いろいろな側面からのお話を聞けたので、今日は出席できてよかったです。

また次回のフォーラムなどに参加したいと思います。

ありがとうございました。

依頼して講演していただくことは可能でしょうか？こういうことは教員養成学部でもやりたいです。今の
学生は驚くほど何も知りません。知ろうとしていません。

明るく元気で。

今後も引き続き活動を続けられますように。

参加者の顔というか全員から会場全体にいい雰囲気を作ってくれてとても居心地よかったです。

このようなイベントを増やし、たくさんの人に身近に感じてほしいです。

子どもの声を大切にしていらっしゃることに心から感銘を受けます。

本の出版、改めておめでとうございます。もうあと数冊購入して、関心ありそうな方に差し上げたいと思います。

以上